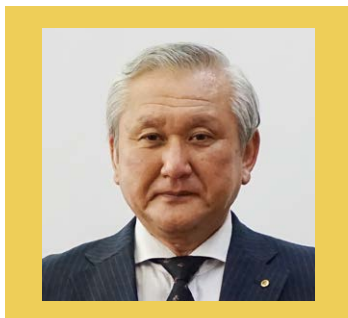




副会長
藤川 和秀

令和4年の輝かしい新春をお迎えになられたこととお喜び申し上げます。

会員の皆様方におかれましては、日ごろ本会運営に対し温かいご理解とご協力をいただきまして厚くお礼申し上げますと共に、本年も変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

昨年はコロナが終息しない中で57年ぶりに東京オリンピックが開催され、選手の皆さんの日ごろからの精進の結晶を見させていただき感動と勇気を貰いました。そうした中この2年間は、コロナで始まりコロナで終わりました。

また本年は、第6波が再来しようとしています。まもなく経口薬の承認もされ予防、重症化を未然に抑えられるようになってはくるようではありますが、基本的には、三蜜を避ける行動をし、手洗い・うがい・マスクの着用の徹底が私たちにできる有効手段である事には間違いありません。日常からの心がけをお願いします。

このようなコロナ禍において業界も大打撃を受けております。平成23年度の療養費総額が4,085億円ほどありました。昨年までの10年間で全国の施術所は、10,000件以上増え53,000件とも56,000件ともいわれております。一般的に考えれば、施術所が増えれば取り扱う療養費も増加するものと思いますが、現実には1,000億円もの減収となっており、比して他の医療関係業種・あはきマッサージ業界は増加しております。

これには、種々の要因が考えられます。

1. 施術所の増加に伴う来院患者様の減少

2. 保険者による必要以上の患者照会による受診抑制等

減収だけに焦点をあてれば、まだまだ要因はあるかと思いますが減収になった原因を見つけ対策を講じなければますます苦しい業界となってしまいます。

先人が申しています。「因果応報」を知るべし。いわずと知れた、「原因があるから結果として現れる」との言葉です。このことより、果だけを注視しても何ら解決にはなりません。そこには、この結果を招いてしまった原因があるはずで。原因を正確に且つ迅速に見つけ出すことが肝要になってきます。「そのことをせずして、苦しい苦しいと嘆くべからず」です。

手っ取り早く、減収を取り戻そうなどと考えないことです。そこに無理が生じ、無理が無理を生み自らの業務を忘れてしまうことになります。

法治国家である以上、私たちの業務も柔道整復師法に準じた施術を行う原点を今だからこそ見つめなおす事が必要に思います。

このことは、一社団で出来るものではありません。多くの先生よりご意見、ご要望をお聞きして、公益社団法人日本柔道整復師会に上程し、業界全体の総意とし監督官庁である厚生労働省に働きかけをし、上を見るだけでなく、足元を固めていかなければ変革は望めないと思っております。

私たちは、「柔道整復師・ほねつぎ」です。この仕事に自信と誇りを持っております。

近年、保険者よりの患者照会によって不支給決定が多くされております。また、直接的

に接骨院での施術を認めない等の事案も出てきております。これらの状況を、今後少しでも減少させていくように私たち柔道整復師は、もう一度原点に立ち返り本来の柔道整復師業務を見直して進めていくことが、支払保険者等に信頼を寄せていただく一步になるのではないのでしょうか。

使い古された言葉ではありますが、「冬は、かならず春となる」との譬えのごとく、諦め

ることなく足場を固めて、一歩ずつ前進するように互いに協力して進んで行こうではありませんか。

愛整会全会員、心をひとつにしてこれからの難局を乗り越えていきましょう。

『団結は力なり』

令和4年元旦

新春を迎えて



愛知県知事
大村 秀章

あけましておめでとうございます。

新たな年が、県民の皆様にとりまして素晴らしい1年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症が、県民の皆様の生活や経済活動に大きな影響を与える中、安心な日常生活と活力ある社会経済活動を取り戻していくため、オール愛知で一丸となって、感染症の「克服」に向けた取組を進めてまいりました。

こうした中でも、ジブリパークの整備推進、世界最高クラスのアリーナとなる愛知県新体育館、国内最大のスタートアップ支援拠点「STATION Ai」の整備着手など、感染症克服後を見据え、将来にわたって、日本の成長をリードし続ける愛知を形作っていけるよう、愛知を「前進」させた1年となりました。

世界は、グローバル化の進展やそれに伴う感染症リスクの増大、デジタル技術の急速な

発展などにより、加速度的な変化を遂げています。今後も、愛知が日本の成長エンジンとして、我が国の発展を力強くリードしていくためには、そうした変化に的確に対応し、イノベーションを巻き起こしていかなければなりません。

今年も、国内外の優れたスタートアップと地域のモノづくり企業とのオープンイノベーションにより、イノベーションが次々と創出される、愛知独自のスタートアップ・エコシステムの形成を促進するとともに、海外先進地域との連携を深め、世界に例を見ないグローバルなイノベーション創出拠点の形成を目指します。

また、リニア大交流圏を見据えた社会インフラ整備、農林水産業の振興、教育・人づくり、女性の活躍、医療・福祉、環境、雇用、多文化共生、防災・交通安全、東三河地域の振興など、県民の皆様の生活と社会福祉の向

上にもしっかりと取り組んでまいります。

今年7月には、3年に一度の国際的な現代アートの祭典、国際芸術祭「あいち2022」を開催します。秋にはいよいよ、ジブリパーク全5エリアのうち、「青春の丘エリア」「ジブリの大倉庫エリア」「どんどこ森エリア」の3エリアが開業します。愛知の魅力を高める取組を着実に進め、国内外での愛知のプレゼンスをより一層高めてまいります。

2022年は、1872（明治5）年に現在の愛知県が誕生してから、150周年にあたる記念すべき年です。県民の皆様に、郷土への愛着と誇りを改めて持っていただき、そして、将来も愛知県に住み続け、愛知をより良くしていきたいと思っただけよう、今年も全力で取り組んでまいりますので、一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

2022年元旦

年頭所感



名古屋市長
河村 たかし

“世界に冠たるNAGOYAへ”

年頭にあたり、謹んでご挨拶を申し上げます。

昨年は、不要不急の外出自粛、営業時間短縮などの感染症対策に大変なご協力を頂き御礼申し上げます。本市においては、「感染者・濃厚接触者に対する積極的疫学調査」や丁寧な健康観察の体制強化などに取り組むとともに、ワクチン接種では医療関係者はじめ皆さまの多大なご協力を頂くことで、早期に計画目標を達成することができました。

一方、ナゴヤの「くらし」においては、本年には過去最大の約50億円分・30%のポイント付与率及びプレミアム率による、総額約200億円の電子商品券と紙のプレミアム商品券を発行することで、ナゴヤの消費を大いに盛り上げてまいります。経済波及効果は1年間で約220億円を見込んでいることから、キャッシュレス決済の利用促進等によりナゴヤ

のデジタルトランスフォーメーションを進める未来への投資となるとともに、市内経済の回復に寄与するものと強く確信しております。

令和の時代は、リニア中央新幹線の開通による世界最大の都市圏（スーパー・メガリージョン）の誕生、愛知・名古屋2026アジア競技大会の開催、そして名古屋城天守閣の木造復元など、「世界に冠たるNAGOYA」へ向けて、さらに大きく踏み出す時代となります。

その新たな時代の主人公となるナゴヤの子どもたちが幸せを感じ健やかに成長できるよう、子どもを全力で守り、応援するべく、子どもが楽しいと感じられる新しい学校づくりにも取り組んでまいります。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

令和4年元旦



愛知労働局長
伊藤 正史

新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

令和4年の年頭に当たり、公益社団法人愛知県柔道整復師会の皆様の日頃からの愛知労働局の行政運営に対するご理解とご協力に改めて御礼申し上げますとともに、今年一年の所信の一端を述べさせていただきます。

昨年令和3年は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大、これを踏まえた再三の緊急事態宣言の発令等が、社会経済活動全般、ひいては雇用・労働環境等に広範な影響をもたらした年でした。

本県でも、こうした環境下で、有効求人倍率（季節調整値）は、令和2年12月に0.99倍と1倍を下回りましたが、その後、基幹産業である自動車関連産業を中心に幅広い産業において生産活動の回復の動きが見られ、それに伴い求人は増加、求職者の動きも落ち着きを取り戻し、令和3年10月の有効求人倍率は、1.22倍に上昇するなど、雇用失業情勢は緩やかながら改善基調を示しています。

当局としては、労働災害防止対策につきましては、第13次労働災害防止推進計画の目標達成に向け、「危なさと向きあおう」のキャッチフレーズの下、リスクアセスメントの推進に取り組むとともに、治療と仕事の両立支援など安全で安心して働くことのできる職場環境の実現に向け各施策を推進してまいります。

また、労災補償業務については、効率的な調査と法令、認定基準等に基づいた事務処理を徹底することにより、被災労働者に対する迅速かつ公正な労災保険給付に努めてまいります。

以上を始め、本年も様々な施策を行ってまいります。社会全体としても、各企業等においても、引き続き「ウィズコロナ」での難しい舵取りが求められることとなりますが、本年が皆様にとってより良い年になるよう祈念いたしますとともに、今後とも皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

令和4年元旦



公益社団法人愛知県医師会 会長

柵木 充明

明けましておめでとうございます。

新型コロナウイルス感染症は、ワクチン接種率が増えるに従い、昨年夏から始まった第5波も秋口には急速に収束へと向かいました。その理由として、ワクチン効果だけでなく、季節性の要因、国民の衛生意識の向上などが挙げられています。

政府は、新型コロナウイルス対策を最重要課題と位置付け、ややもすれば後手後手と言われていた今までの政策を見直し、感染力が今までの2倍となった場合に備え、病床を第5波の3割増、約1万人分増やす方針を示しました。

また、待望久しい経口治療薬も160万回分を確保し、第6波が今までにない大波となっても耐えられる体制づくりを決定しています。

この稿を書いている時には、愛知県の新規感染者数は10人を切る日が続き、とても第6波を想起する状況にはありませんでしたが、新年を迎えて感染の状況はどうなっているのでしょうか。

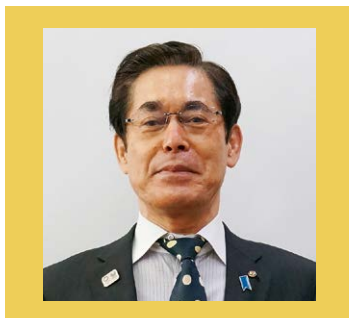
従来、日本の社会保障上の課題は、2025年問題に象徴される高齢者の急増にどう対応するか、併せて、予想を大幅に上回る少子化への施策でした。目前に迫ったこれらの対応に加えて、今年は新型コロナウイルス感染症が日本の社会、医療界に突きつけた課題を整理し、今後の新興感染症対策や日本の医療のあり方を改めて考える年になります。

「成長と分配」が岸田総理の基本方針です。1,200兆円を超える財政赤字を抱えて、社会保障の原資をどう工面していくか。新しい資本主義、カーボンニュートラルの実現、DX（Digital Transformation）の推進、研究開発力の充実、防衛力の強化、いずれをとってもこれからの日本にとって取り組むべき重要な課題であり、予算はいくらでも要ります。岸田内閣には十分な備えをお願いしたいと思っています。

ウィズコロナとなるであろう今年も、引き続き、感染対策をしっかりとし、社会経済活動が推進されることを期待しています。

柔道整復師会の皆様方におかれましては、本年もご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和4年元旦



会長
森川 伸治

「リアル二刀流」の攻めと守りで業界を支える ～ 柔整 柔整 じゅうせえわ あなたが思うより大変です ～

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様方をはじめ、国民の皆様方へのワクチン接種も進み、何の対処もできなかった昨年と比べて、やや落ち着いたお気持ちで、新しい年を迎えられたことと存じます。しかしながら、南アフリカ共和国で新たな変異株「オミクロン株」が確認され、ワクチン接種率の高い欧米諸国を含めた世界中に感染が再拡大しております。我が国に於いても、既に複数の感染者から「オミクロン株」が確認されており、会員の皆様方には、医療の一翼を担う者として気を緩めることなく、引き続き十分な感染対策を行っていただきますよう、節にお願い申し上げます。

また、昨年秋に執行されました第49回衆議院議員総選挙に於きましては、会員の皆様方に絶大な連盟活動をしていただき、推薦させていただきました一区から十五区全ての候補者を小選挙区と比例代表選挙に於きまして当選させることができました。これも偏に、会員の皆様方の温かいご支援・ご協力の賜と改めて厚くお礼申し上げます。また、代議士の先生方に、柔整業界の厳しい現状をしっかりとお伝えしましたことを申し添えます。

さて、柔道整復業界全体の柔道整復療養費は、平成23年をピークに10年間、下がり続けております。流行語大賞トップテンの「うっせえわ」の楽曲のように、「柔整 柔整 じゅうせえわ あなたが思うより大変です」「絶対絶対現場の 代弁者は私 やろがい」と、誰かが声を大にして主張しなければ、我々は生き残れません。令和4年度の料金改定に於いて大幅なプラス改定をしていただかなければ、近い将来、現場が崩壊して業界存続の危機である旨、政府と県政に、強く要望させていただきました。特に政府に対しては、上部団体である（公社）日本柔道整復師会より、予算・一般政策に関する要望を九項目、税制に関する要望は、国税関係二項目、地方税関係三項目を提出、そのうち、重点項目内容は、以下の通りです。

- 一、柔整療養費の料金改定に向けてご支援をいただきたい。
- 二、新型コロナウイルス感染症対策のため柔道整復施術所に対して

財政的支援をいただきたい。

三、柔道整復の施術所において、今後、実施が予定されているマイナンバーカードでの資格確認を円滑に進めるため、システムの構築、カードリーダーの設置等について財政的支援をいただきたい。

四、柔道整復療養費オンライン請求のモデル事業が早期に実施できるようご支援をいただきたい。

五、柔道整復施術所の開設者を柔道整復師に限定されたい。

六、国民が安心して安全な施術を受けられるよう、無資格者が開設する、いわゆるマッサージ店等の広告等の規制をお願いしたい。

以上の六点について、膝詰めをお願いしていただきました。尚、この要望に際して、柔道整復師の業務が、社会生活維持に貢献する事業であると認められた背景には、会員の皆様方が、長きに亘って地域社会に貢献し、それぞれの地域で築き上げてこられた信頼関係の積み重ねが柔道整復業界の事業継続支援に結びついたものと、感謝申し上げる次第です。

引き続き、コロナ禍における持続可能な業界支援、地域包括ケアシステムにおける訪問ケア参入や訪問運動機能向上事業導入など、withコロナ時代の柔道整復業界生き残りを賭けた行政への強い働きかけを喫緊の課題として、「リアル二刀流」の攻めと守りで業界を支えていく所存でございます。本年も、本会の諸事業に対しまして多大なるご理解、ご協力を賜りますことをお願い申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

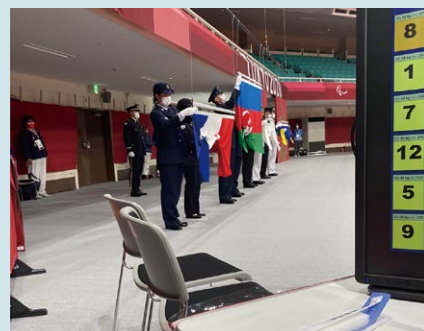
令和4年元旦

PHOTO GALLERY

■行事・ふれあいの広場・わが町



薬師寺東塔（刈谷）

マットドクター
サイドから見た
表彰式
(大曽根)あいち朝日遺跡
ミュージアム
(中村)

松平東照宮御神水（鶴舞）



稲沢市 風景

学生時の通学路の風景です。
この写真を見て初心を忘れない
ように心がけています。



岡崎ふたば接骨院勤務 柔道整復師 千藤 佑司

